

# 第2回日本消化管 Virtual Reality 学会総会・学術集会

## 【プログラム】

開催日時：2019年1月19日（土）10:00~16:00（受付開始 9:00）

会場：日本教育会館 7階 中会議室（〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2）

会長：飯沼 元（国立がん研究センター中央病院 放射線診断科）

テーマ：大腸 CT 検査の現状と普及への問題点

理事会(09:00~09:30)

会場：7階 705 会議室

評議員会(09:30~10:00)

会場：7階 704 会議室

開会挨拶 (10:00~10:05)

飯沼 元（国立がん研究センター中央病院）

一般演題(10:05~12:05)

座長：加治屋 より子（南風病院）

小林 広幸（福岡山王病院）

①大腸 CT 検査における腸管拡張不良となる因子の検討

加藤 義一（一般社団法人岡崎市医師会 公衆衛生センター）

②大腸 CT 検査を取り入れた職員健診の現状

淵脇 崇史（鹿児島共済会 南風病院）

③大腸 CT 検査午後法におけるタギング改善の検討

平野 昌弘（聖隷健康診断センター）

④CT Colonography が発見契機となった Colonic muco-submucosal elongated polyp の一例

村田 浩毅（医療法人尚豊会 みたき総合病院）

⑤大腸髄様がんの CTC 所見の特徴について

國枝 栄二（医療法人 山田外科内科）

⑥大腸ポリープ切除後に行われた大腸 CT で偽病変を呈した1例

山崎 通尋（医療法人山下病院）

⑦大腸 CT 検診で遭遇した比較的稀な良性疾患

満崎 克彦（済生会熊本病院予防医療センター）

⑧CTC が有用であると考えられた SM 深部浸潤癌の2例

加藤文一朗（秋田赤十字病院 消化器病センター）

特別発言：「大腸 CT 検査の現状における問題点と今後の課題」

飯沼 元（国立がん研究センター中央病院）

総会(12:05~12:25)

**ランチョンセミナー(12:30～13:10) 共催：アミン株式会社**

大腸 CT 検診の最新の話題

演者：満崎 克彦（済生会熊本病院）

**休憩 (13:10～13:20)**

**シンポジウム(13:20～14:50)**

テーマ：大腸 CT 検査の普及におけるチーム医療の重要性～CTC 検診実施施設からの最新情報～

司会：飯沼 元（国立がん研究センター中央病院）

服部 昌志（山下病院）

1：診療放射線技師の立場から

平野 雄士（小樽掖済会病院）

2：消化器科医の立場から

和田 恒哉（岡崎市医師会公衆衛生センター）

3：放射線科医の立場から

笹井 信也（笠岡第一病院）

総合討論

**休憩(14:50～15:00)**

**特別講演 I (15:00～15:30)**

座長：永原 章仁（順天堂大学）

私はこうして CTC 診断法を学んだ。～英国医療機関の訪問を通して～

演者：三宅 基隆（国立がん研究センター中央病院）

**特別講演 II (15:30～16:00)**

座長：山野 泰穂（札幌医科大学）

内視鏡医からみた消化管 VR 画像：大腸 T1(SM)癌の内視鏡-VR 画像-病理の対比を中心に

演者：原田 英嗣（日本赤十字社秋田赤十字病院 消化器病センター 消化器内科）

**閉会の挨拶(16:00)**

山野 泰穂（札幌医科大学）